

報道発表

令和6年 5月15日
県土マネジメント部 河川整備課
担当 近藤課長補佐、川端係長
TEL:0742-27-7504 (内線 4173)

奈良県災害リスク情報システムの運用を開始します

(旧: 土砂災害・防災情報システム)

～洪水浸水想定区域図が見やすくなります～

洪水浸水想定区域図は、これまで県河川整備課のホームページで河川ごとに PDF で公表していましたが、「災害リスク情報システム」(旧 土砂災害・防災情報システム)で閲覧できるようになります。

今回のシステム改良により、地図上の任意の地点をクリックすると、どの河川から浸水のリスクがあるのか、河川毎にその詳細な浸水深を確認できるようになります。

また、土砂災害警戒区域等と洪水浸水想定区域図を同時に確認することもできます。

本システムや市町村が公表するハザードマップなどを用いて自然災害のリスクを把握し、自事化することで、早め早めの避難に努めていただくようにお願いします。

奈良県災害リスク情報システムの主な機能

- ・大雨に関する気象情報
- ・雨量現況図
- ・土砂災害危険度情報
- ・土砂災害特別警戒区域等マップの表示、公示図書の閲覧
- ・砂防関連法指定地指定状況
- ・**洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の表示等 (今回追加)**

【公表イメージ】



奈良県災害リスク情報システム：<https://www1.nara-saboinfo.jp/doshamap/index.html>

新しくなった「災害リスク情報システム」では、このようなことが確認できるようになります。

- Q. どの川からの洪水リスクがあるのか
- Q. 自宅周辺の浸水深が0.5～3.0mになっているのを見たけど、もう少し詳しく知りたい。
- Q. 自宅の近くに山も川もあるけど、どのような災害リスクがあるのか? など

参考 洪水浸水想定区域とは大雨による水害の危険性を周知し、事前の備えや避難に役立てるため、想定しうる最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域のことで、水防法第14条に基づき国や都道府県が作成し、公表しています。